

令和 4 年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計					事業主体	16200000	都市政策部 都市整備課		
大事業	D1	6つのまちづくり宣言	産業振興	款項目	07	土木費	04	都市計画費		01	都市計画総務費
		目指す姿	活力と"豊かさ"あふれるまち！	K P I	1人当たりの市内総生産額 産業・観光振興に積極的に取り組んでいると感じる人の割合				目標値	4,100千円 50.0%	
中事業	02	主要な取り組み	「働く」から「働きたい」場所へ								
小事業	05	新産業集積地区整備事業		目標年度	令和6年度						



イン プ ット	事業実施の 背景にある課題	少子化や超高齢化が進行し都市間競争が激化する中で、従来にも増して他都市との差別化を図り、都市の存在感を高める必要がある。当市においては高い交通利便性や防災性等を背景とした高い企業の進出意向に対応し、本市の活力の維持、向上のため企業誘致を進めるべきところであるが、現時点では市内に誘致できる立地適地がなく、新たな産業集積地の整備が求められている。				
	事業目的	(1) 対象 市内企業、市民 (2) 目的 企業誘致により市内企業を増加及び多様化させ、市民の雇用機会および定住を促進させる				
	事業概要	新たな産業集積地の整備を目指して事業化に向けた各種の調査、調整、協議などをおこなうとともに、IC周辺の渋滞緩和およびアクセス道路の整備、進出いただきたい企業への訪問やPR活動などの企業誘致活動を行っていく。				
	事業費(千円)	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額 決算額	11,247 10,774	29,910 22,784	25,617 3,526	42,286	
	年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	2,144 / 0				



アウト プ ット	活動指標(単位)	R02	R03	R04	R05	R06
	実施プロセスの着手 1.候補地調査・2.地元説明・3. 権利者等同意・4.開発申請調整・ 5.開発手続き完了・6.工事着手	目標値	2	3	4	4
		実績値	2	3	3	



アウト カ ム	K P I (単位)	R02	R03	R04	R05	R06
	誘致候補地の決定と開発等事業着手	目標値	1	1	1	1
		実績値	1	1	1	

実
績

効
果



評
価
分
析

実 績	・美濃加茂IC南地区での新産業集積地区整備に向けて事業者、関係機関、権利者等から意見を伺いながら事業化に向けた調整を行った。 ・渋滞緩和策であるスカイロードインター線の整備に向けた業務(詳細設計・用地測量・補償調査・土地評価)を実施した。(令和5年度に繰越し) ・岐阜県企業誘致推進協議会に参加し企業展に2回出展した。
効 果	事業者による権利者説明会も開催され、市も地権者と個別で意見交換を行ったことで事業に対する権利者や地域の理解は深まっている。 渋滞緩和策であるスカイロードインター線整備事業は詳細設計、用地測量、補償調査・土地評価業務を発注し公安協議も完了するなど、道路整備に向けて事業が進捗している。

活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	事業者による権利者調整に想定外の時間を要しており、目標としていた公的機関への申請には至っていない。
K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	課題はあるものの新産業集積地の整備に向けて継続的に事業が行われている。
実績からR05年度の 事業の方向性	事業者は令和5年度に公的機関への申請を目指しており、市としても更に積極的な対応が必要となってくる。

令和４年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計					事業主体	16200000	都市政策部 都市整備課	
大事業	E1	6つのまちづくり宣言	地域再生	款項目	07	土木費	04	都市計画費	01	都市計画総務費
		目指す姿	地域の魅力をアップデート！	K P I	あい愛バス利用者数 住みよいまちだと感じる人の割合				目標値	120,000人 80.0%
中事業	02	主要な取り組み	スクラップorリノベーション&ビルド							
小事業	02	美濃太田駅周辺市街地再開発事業			目標年度	令和6年度				

イン プ ット	事業実施の 背景にある課題	商業地域として市の中心市街地を形成している美濃太田駅周辺地区では、生活様式や社会構造の変化もあり居住者及び店舗の数が減少しており、公共交通が充実し公共公益施設が集約するなどの地域が持つポテンシャルを活かした地域再生が求められている。また、建物が老朽化し都市計画道路が長年未整備のままなど、地域の安全性にも課題がある。				
	事業目的	(1)対象(誰、何を対象にしていますか) 市民・事業者 (2)目的 都市施設の整備や土地の有効活用及び高度利用などにより地域の利便性や防災性、安全性、快適性などを向上させ、居住環境の整備や商業集積の進展を図ることで地域特性を生かした安全・安心で居心地が良く、住みよいまちづくりを実現し、賑わいのあるまちなかを再生する。				
	事業概要	美濃太田駅周辺整備将来基本構想に基づき、市街地再開発事業による健康的な美濃加茂市の顔となる街づくりを駅南地区で実現するために、事業主体となる組合の設立に向けた支援並びに事業補助を行うものである。				
	事業費(千円)	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	16,723	51,017	9,507	17,898	
	決算額	14,868	8,224	5,823		
	年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	2,183 / 1,794				

アウト プ ット	活動指標(単位)	R02	R03	R04	R05	R06
	1:基本構想策定、2:街づくり協議会設立、3:基本計画作成、4:準備組合設立、5:推進計画策定、6:都市計画決定、7:事業推進補助	目標値	3	4	6	6
		実績値	3	4	5	

アウト カ ム	K P I (単位)	R02	R03	R04	R05	R06
	駅南地域での賑わい創出に向けた集客数	目標値		300	400	500
		実績値		320		



実 績	実 績	市街地再開発事業の事業化に向けて事業協力者を募集し、審査を経て事業協力者の決定、準備組合との事業協定に関する基本協定の締結に至るとともに、都市計画決定に向けて再開発推進計画を策定した。また、地域との連携やパブリックスペースの有効活用に向けた実証実験として、車道を規制してのM V撮影や駅前広場や美濃太田駅自由通路を活用した青空展示会などを開催した。
	効 果	市街地再開発事業の事業化に向けた大きな一歩となる、市街地再開発準備組合と事業協力者との基本協定の締結に至り、準備組合が直接コーディネーターと契約を締結することとなった。



評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	事業協力者との基本協定の締結には至ったものの、提案内容をベースとした具体的な事業計画案の協議、調整には至っておらず、都市計画決定の素案策定に至っていない。年度末には推進計画が策定されたため、今後こうした計画も参考にされながら準備組合において事業計画案が協議、調整されていく。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	イベントにおいては地域の団体と連携して実施することができ、悪天候にもかかわらず目標値を上回る集客があった。
	実績からR05年度の 事業の方向性	市街地再開発事業を中心とする地域のまちづくりを推進するために、国庫補助事業の採択や都市計画決定に向けて国や県との調整を進めるとともに、地域とも連携を深めながら地域全体のまちづくりに向けたまちづくり方針の策定やパブリックスペースの有効活用に向けた実証実験などを進める。